

ふれあい

(題字 室原亥十二)

菊南病院 基本理念

利用者に「健康」「希望」「やすらぎ」を、その家族に「安心」を提供することにより、社会に寄与し、職員は「生きがい」と「誇り」を持ちます

基本方針 私達の提供するサービス

1. 「プライマリーケア」

地域の医療・介護の窓口として種々の症状、疾患、問題に対処します

2. 「急性期医療」

緊急、重症の病気に対応します。当院での対応が困難な場合は他の医療機関と連携をとります

3. 「慢性期医療」

慢性疾患、リハビリテーションなどの慢性期医療を外来、入院、及び在宅で提供します

4. 「予防医療」

健康の保持・増進・そして疾病の予防サービスを提供します

看護部の理念

利用者とその家族、そして自分たちの心にもやさしい看護を提供します

Contents

理事長「繰り返すmadness(狂気)の世紀」……………	P2
入社式・新入職員紹介……………	P2・3
マラソン大会に参加しました……………	P3
お花見会……………	P4

水前寺高齢者複合施設便り「うりぼう」……………	P6
ドクター古庄のサイクリング紀行(No13)……………	P7
きくなん生き生き健康教室……………	P7

室原内科・小児科

〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目11番9号
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

菊南病院

〒861-5517 熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

水前寺高齢者複合施設

〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目3番15号
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221



繰り返す madness (狂気) の世紀

理事長 室原 亥十二

古来西洋ではmadnessは人間の能力の一つだと言われている。Madnessの究極の行為は己の死もいとわず人を殺す事だと言ってもよい。これが国家・民族・宗教等の間で入り乱れて争われたら戦争となる。社会で発生したら殺人事件となる。前者は歴史に名を残し、後者は罪人となる。規模も動機も違うが同じmadnessの状態であることは変わらない。然し評価が異なる。なんとも不条理な話だ。

史上戦争でのmadnessはアレキサンダー大王に始まりハンニバル、十字軍の獅子心王、ジンギスカン等々、数え上げたらきりが無い。近代ではナポレオン、20世紀ではセルビアの青年の一発の銃声で始まった第一次世界大戦の後遺症に誘発されたヒットラーが「我が闘争」をかかげて突如第二次世界大戦の火蓋が切られ、全世界をmadnessの坩堝に陥れた。この反省にたち21世紀の現在の世界の指導者は辛うじてmadnessを、もう一つの能力であるintelligence(理性)でその暴発を抑止している。戦争も勿論、事件も共にもうあって欲しくない。

然し、何時バランスが崩れるか分からない。そのきっかけは「第5の戦場」と捉えられてる相手国の中核、又は人を狙った「標的型攻撃」のサイバー攻撃から始まると思う。

平成25年3月22日

一職員紹介一

～平成25年2月1日以降に入職した職員です～

室原内科・小児科



高田 優子
准看護師

水前寺有料老人ホーム



石渕 貴寿
介護福祉士

小規模多機能型居宅介護
「いとし」



野尻 博美
ホームヘルパー2級

菊南病院



守部 伸幸
診療放射線技師



宮崎 佐和子
看護師



田口 さき子
ケアワーカー



平成25年度 (医)室原会菊南病院 入社式・新人研修

平成25年4月1日、菊南病院に12名の新入職員が入職しました。



入社式



記念植樹

この日の入社식을皮切りに、新人・その他(途中入職者)の方々を対象に3日間新人研修が行われました。菊南病院に関する事はもちろん、医療安全や感染対策について、接遇や介護体験、救急蘇生法など、多岐にわたる研修が行われ、長時間の研修にも関わらず皆さん真剣に受講されていました。

皆さんの今後の活躍が楽しみです。



介護体験



救急蘇生法



講義の様子

～新入職員紹介～【入社式参加者(順不同)】



佐々木 朋香
医療相談室



中村 珠莉
医療相談室



勝木 美由希
一般病棟NS



松本 法子
I病棟CW



江藤 美沙
薬剤部



上田 鷹輝
理学療法科



本田 繁
理学療法科



吉本 つかさ
理学療法科



海老澤 昂
作業療法科



福永 真紀
言語療法科



川元 秀人
環境管理課(当直)



藤本 収
環境管理課(当直)

入職おめでとうございます。
新旧スタッフ一同、力を合わせて
頑張ります!

「RKK女子駅伝」



去る、2月11日(祝・月)に毎年恒例の「ライオンRKK女子駅伝」に出場しました。出場チームは2チーム。健康管理部、事務部、リハ部、医療相談のメンバーが日々練習を重ね走りました。結果は、375チーム中214位と262位。監督は、古庄副院長、健康管理部荒木主任、大変お世話になりました。

終了後は、もちろん恒例の「焼肉大会」。選手一同、思う存分美味しいお肉を頂きました。また来年も頑張ります。

(健康管理部・中嶋)

「第2回熊本城マラソン」



2月17日(日)に開催された「第2回熊本城マラソン」に出場しました。フルマラソンの部に6名(事務・芹澤、健康管理部・中嶋・藤野、リハ部・藤崎、高峰、看護部・宮本)、4キロの部3名(看護部・池田、坂本、中野)、30キロの部1名(医局・吉村)、総勢10名が参加いたしました。

結果はどうであれ、各自仕事が終わって黙々と練習し、ゴールすることができました。寒い中、自転車選手を追いかけ写真を撮っていた古庄副院長はじめ、たくさん職員の方々に応援していただき心よりお礼申し上げます。

(健康管理部・中嶋)

「熊本市民駅伝競走大会」



去る、3月2日(土)に開催された「熊本市民駅伝競走大会」に初めて参加してきました。メンバーは、1区(医局・吉村)2区(デイケア・木村)3区(健康管理部・中嶋)4区(看護部・河田)5区(外部)で出場しました。初参加で緊張しましたが、一般2部10km(2km×5人)、62チーム中25位という結果にびっくり。今年は「菊南病院ランニングチーム」を結成し、来年は上位入賞を目指したいと思います。

(健康管理部・中嶋)



うりぼう



～施設の楽しい行事を紹介します。～

水前寺高齢者複合施設
小規模多機能 いとし
グループホーム 鈴の音
水前寺有料老人ホーム

いとし

☆いちご大福作り☆

あんこを丸めて!

いちごを
包みましょう!

いただき
まーす!

お内裏さま♪とお雛さま☆

鈴の音

有料老人ホーム



バレンタイン♪

おいしいよ~☆



お花見

今年の春は早めに訪れ
先日、一足先に近くの
公園へみんなでお花見に出かけました!

3階

自衛隊通りにやって来ました。
途中、足湯を見つけましたよ!

2階

綺麗かねえ~♡

1階

はいチーズ(^.^)v



桜の壁絵を作りました。

101回目の雛祭り

小規模多機能をご利用の小杉 茂様、
有料老人ホームにご入居の元吉 キミ工様が、
101歳になられました!!
おめでとうございます。



患者様ご家族様より、色とり
どりの絵葉書が届きました☆



◆外来担当医当番表◆

平成25年4月1日～

菊南病院

		月	火	水	木	金	土
午前 診療 (9時～12時) 受付 (9時～11時)	1診	室原	赤星	室原	梅田	赤星	室原
	2診	古庄	加古	古庄	加古	加古	赤星
	3診	整形外科 前田(予約)	整形外科 前田(予約)	吉村	呼吸器科 松岡(予約)	整形外科 前田(予約)	☆梅田(第2,4週) ☆吉村(第1,3,5週)
午後 診療・受付 (13時～17時)	1診	梅田 (予約)	梅田 (予約)	室原 (予約)	室原 (予約)	梅田 (予約)	
	2診	(予備)	中島	古庄	吉村	禁煙外来 古庄(予約)	休診
	3診	—	—	神経内科 14時～17時 守屋(隔週)	—	—	

☆隔週で担当が異なりますのでご注意ください。
事前にお問い合わせ下さい。

●休診日：日曜、祝日、年末年始等 ※但し、急患の場合はこの限りではありません。

《その他の教室》 毎月第4水曜日 午前11:00～午後2:00「きくなん生き生き健康教室」

—医師情報—

松岡 呼吸器 ※要予約

守屋 神経内科 ※隔週：第1・第3・第5水曜日

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

平成25年1月現在

室原内科・小児科

		月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二	室原亥十二 ☆第4火曜日 動脈硬化検査	室原亥十二 高血圧外来 (Dr.梅田)	休診	休診	室原亥十二 毎月第2・第4金曜日 腹部エコー検査	室原亥十二 糖尿病外来 (Dr.後藤)
	室原亥十二	室原亥十二 ☆第4火曜日 動脈硬化検査	室原亥十二 喘息外来 (Dr.藤井)	休診	休診	室原亥十二 心臓外来 (Dr.室原良治)	室原亥十二 心臓外来 (Dr.室原良治)

☆午前8:30～12:00 午後1:30～3:00

●診察日・時間：月～土曜日(木曜日を除く) 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間：木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

《その他の教室》 毎月第2火曜日 午後2:00より「生きがい塾」

毎週月・水曜日・午前 / 月曜日・午後 「ハツラツ健康運動教室」

「継続は力なり」とか。「生き生き健康教室」は、現在137回も実施されています。スタッフ一同のたゆまぬ努力が大きなご褒美をいただきました。

先日、その生き生き教室の方から、少々体調を崩した私にと「置かれた場所であなただけ」という一本をプレゼントされました。その中に、「一生の終わりに残るものは、私達が集めたものでなく、私たちが与えたものだ」という言葉があり、胸にしみました。謙虚になる事が成熟の証という事を教えられた様に思います。編集長 室原 鈴子

春は新入社員のご紹介が頁を飾っています。希望の季節の始まり、チャレンジ精神を忘れず、頑張ってください。又「RKK女子駅伝」熊本城マラソン「熊本市駅伝競走大会」、スポーツにかけるすばらしいチャレンジ精神に大拍手!!忙しい人こそ、チャレンジ・オブ・ペース。「ドクター古庄のサイクリング紀行」も相変わらず大好評。ロマンチックな「ナルシストの椅子」の写真を眺め、ナルホドと感嘆しきりです。

平成25年1月16日、菊南病院理事室原佳江が、53歳という若さで旅立ちました。明るく、元気に、ポジティブに生き抜いた彼女でした。桜の花びらの様に散り、80歳を超えた私たちはまだ痛みが残り、心にポツカリ穴があいた桜との日々です。生前は皆様方に大変お世話になり、また、多くの方々の心あたたまるご会葬、この誌上で心より厚く御礼申し上げます。

花とあつたら桜を指す事とか。それ程桜の花は日本人に愛され、親しまれてきました。「春号」もお花見会など、花の便りが満載、楽しみにお読み下さい。

編集後記

